

津波と避難のシミュレーションから

津波避難戦略を考える

鈴木 進吾¹・樋本 圭佑²・安田 成夫³

¹京都大学防災研究所巨大災害研究センター

E-mail: shingo@drs.dpri.kyoto-u.ac.jp

²京都大学防災研究所

E-mail: himoto.keisuke.5u@kyoto-u.ac.jp

³京都大学防災研究所

E-mail: yasuda.nario.6r@kyoto-u.ac.jp

南海トラフの巨大地震津波に対する防災・減災の取り組みが各地で始まっている。提示された最大クラスの津波の想定、これから発災まで20年の地域のまちづくり、人々の津波避難に関する意識を組み合わせ、被害を軽減する戦略を立てなければならない。本研究では、最大クラスの場合に地域がすべて浸水するが、これから盛土道路が建設され避難に余裕ができる地域をフィールドとして、旧想定・新想定の利用法、盛土道路の利用法を津波シミュレーションと避難シミュレーションを組合せて総合的に検討しようとした。その結果、津波外力の変化に基づく地域分類、避難分析結果に基づく避難困難者の分布についての暫定的な結果を得た。

キーワード：南海, 自動車, 想定, 道路